

令和3年度上越地域若年者自立支援ネットワーク会議 次第

日 時：令和3年8月19日(木) 午後2時～

会 場：上越市市民プラザ 第2会議室

1 開 会

2 自己紹介

3 協議内容

- (1) 上越地域若者サポートステーション事業概要（資料1、2）
- (2) 上越地域若者サポートステーション令和2年度事業報告及び令和3年度実施状況について（資料3～5-1）
- (3) 上越地域若者サポートステーション令和3年度の実施計画について（資料6～11-1）
- (4) 上越地域若者サポートステーションと関係機関の今後の連携について（資料12、12-1）
- (5) その他

4 閉 会

【配布資料】

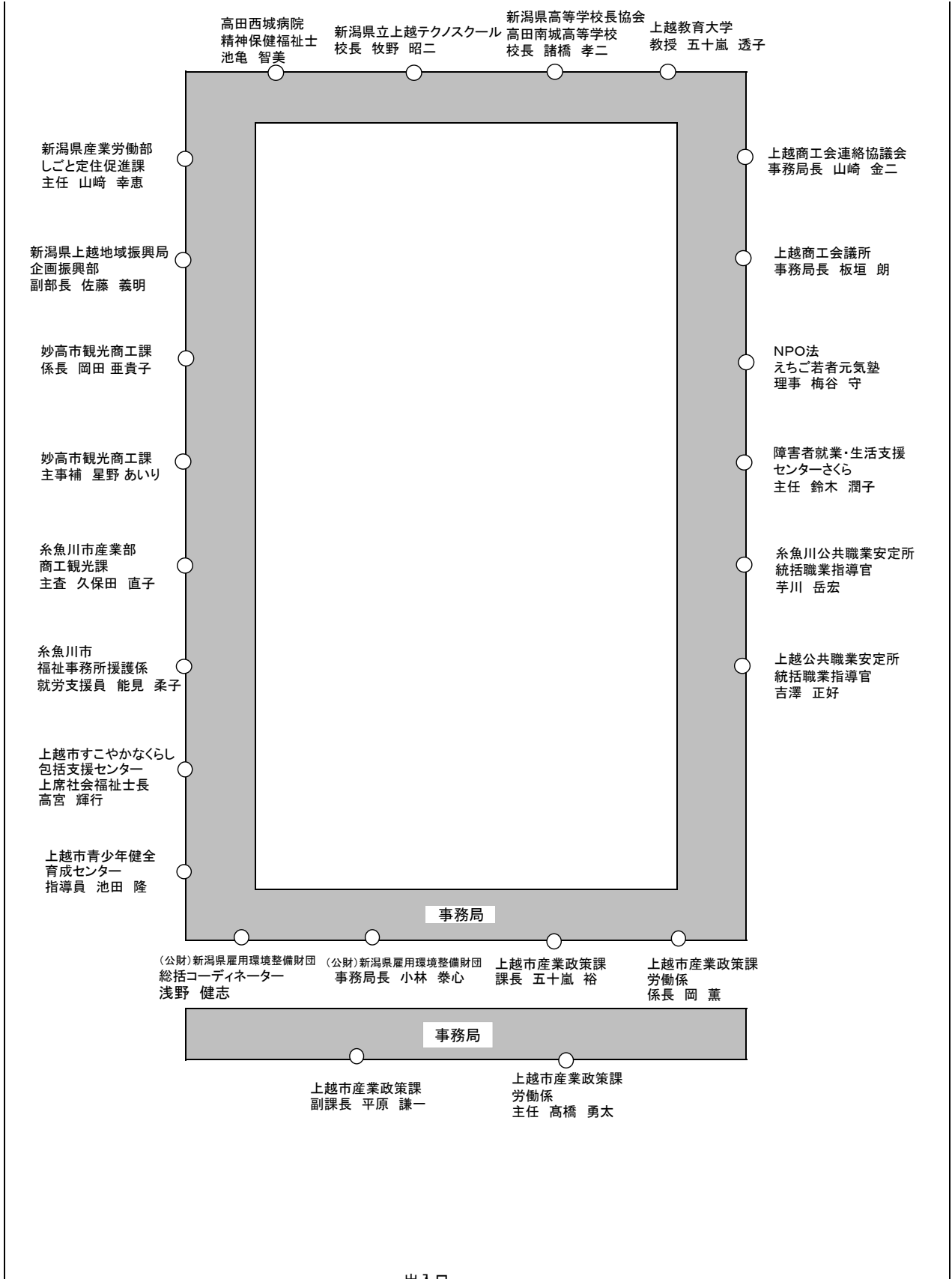
- 資料1 地域若者サポートステーション事業
- 資料2 サポステによる支援と利用者のイメージ
- 資料3 令和2年度地域若者サポートステーション事業の実績
- 資料3-1 令和2年度地域若者サポートステーション事業実績
- 資料4 令和2年度上越地域若者サポートステーション事業実施状況報告書
- 資料4-1 令和2年度上越地域若者サポートステーション状況
- 資料5 令和3年度上越地域若者サポートステーション事業実施状況報告書
- 資料5-1 令和3年度上越地域若者サポートステーション状況
- 資料6 上越地域若者サポートステーション事業〈国受託事業〉実施計画
- 資料6-1 令和3年度上越地域若者サポートステーション事業目標値
- 資料7 地域若者サポートステーション事業 職場体験プログラム
- 資料8 地域若者サポートステーション事業 定着・ステップアッププログラム
- 資料9 就職氷河期世代の方々の活躍の場を更に広げるために
- 資料10 進路未決定卒業予定者等 支援フロー
- 資料11 令和3年度上越地域若者サポートステーション年間行事予定表
- 資料11-1 上越地域若者サポートステーション8月予定表
- 資料12 上越地域若者サポートステーション事業実施チャート
- 資料12-1 「にいがた就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」支援イメージ図

令和3年度上越地域若年者自立支援ネットワーク会議 出席者名簿

区分	機関名	役職	氏名
就労支援機関・就労支援団体	上越公共職業安定所	統括職業指導官	吉澤 正好
	糸魚川公共職業安定所	統括職業指導官	芋川 岳宏
	障害者就業・生活支援センターさくら	主任	鈴木 潤子
	NPO法人 えちご若者元気塾	理事	梅谷 守
	公益財団法人 新潟県雇用環境整備財団	事務局長	小林 泰心
商工団体	上越商工会議所	理事・事務局長	板垣 朗
	上越商工会連絡協議会	事務局長	山崎 金二
教育機関	上越教育大学	教授	五十嵐 透子
	新潟県高等学校校長協会（上越地域校長会） 高田南城高等学校	校長	諸橋 孝二
	新潟県立上越テクノスクール	校長	牧野 昭二
機医 関療	高田西城病院	精神保健福祉士	池亀 智美
行政機関	新潟県産業労働部しごと定住促進課	主任	山崎 幸恵
	新潟県上越地域振興局企画振興部	副部長	佐藤 義明
	妙高市観光商工課	係長	岡田 亜貴子
		主事補	星野 あいり
	糸魚川市産業部商工観光課	主査	久保田 直子
	糸魚川市福祉事務所援護係	就労支援員	能見 柔子
	上越市福祉部すこやかなくらし包括支援センター	上席社会福祉士長	高宮 輝行
	上越市青少年健全育成センター	指導員	池田 隆
	上越市産業観光交流部産業政策課	課長	五十嵐 裕
事務局	上越市産業観光部産業政策課		
	公益財団法人 新潟県雇用環境整備財団		

<出席者座席図>

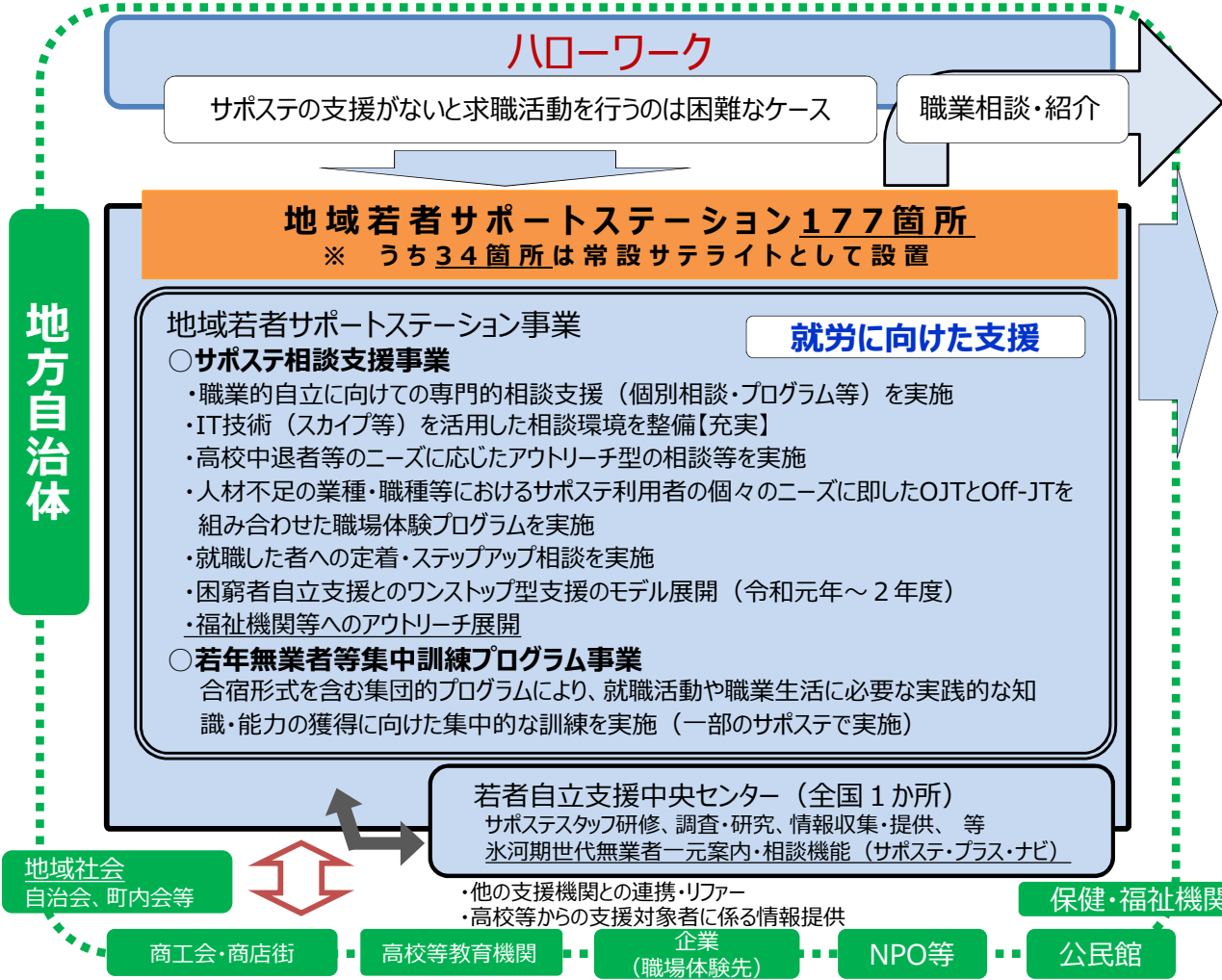
(敬称略)



出入口

- 若者の数が減少する一方で、若年無業者（ニート）※1の数は50万人台半ばで高止まりしており、いわゆる氷河期世代を含めた無業者の数は120万人に達している。
- これらの者の就労を支援することは、若者等の可能性を広げるだけでなく、将来生活保護に陥るリスクを未然に防止し、経済的に自立させ、地域社会の支え手とするとともに、我が国の産業の担い手を育てるために重要である。
- このため、若年無業者等の若者が充実した職業生活を送り、我が国の将来を支える人材となるよう「**地域若者サポートステーション**」（※2）において、地方自治体と協働し（※3）、職業的自立に向けての専門的相談支援、高校中退者等に対する切れ目ない支援、就職後の定着・ステップアップ支援、若年無業者等集中訓練プログラム等を実施。
- さらに、「経済財政運営と改革の基本方針2019」（令和元年6月21日閣議決定）等を踏まえ、就職氷河期世代の支援のため、**対象年齢の40歳代への拡大、把握・働きかけのための福祉機関等へのアウトリーチ展開等**を実施する。

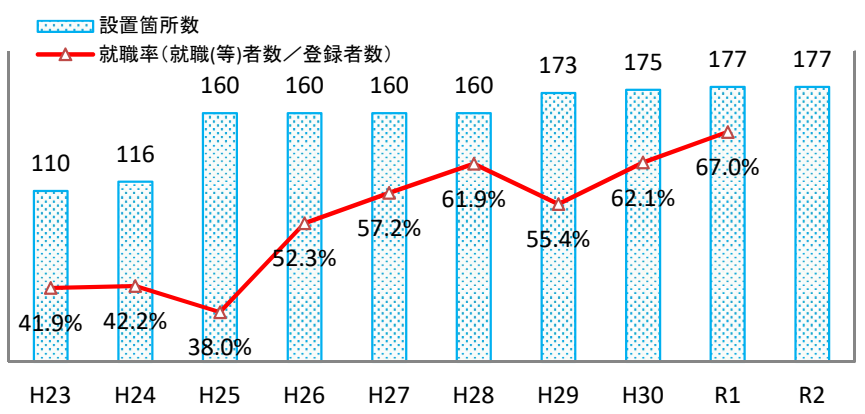
（※1 15～34歳で、非労働力人口のうち、家事も通学もしていない者 ※2 H18年度～。若者支援の実績・ノウハウのあるNPO法人等 実施。15～49歳対象 ※3 地方自治体から予算措置等）



就職（職業訓練等の進路決定）

【サポステの実績】

進路決定者数(人)	うち就職等者数(人)	登録者数(人)	就職等率(%)	総利用件数(件)	相談件数(件)	セミナー等参加者数(人)
11,110	10,603	15,815	67.0%	457,293	287,413	169,880



* 平成27年度より、「就職等」について雇用保険被保険者になり得る就職者に限定、さらに平成29年度より、雇用保険被保険者であることを書類により確認できる場合に限定
 * 平成30年度より、「就職等」とし、雇用保険被保険者となることが見込まれる就職及び公的職業訓練スキームへの移行も含めて評価



若年無業者等のうち、就労の意思はあるものの様々な課題をかかえている者。

(若年無業者等: 15~39歳で、仕事に就いておらず、家事も通学もしていない者)

- 「働きたいけど、どうしたらよいのかわからない…」
- 「働きたいけど、自信が持てず一歩を踏み出せない…」
自分になにかできるとは思えない など
- 「働きたいけど、人間関係の躓きで退職後、プランクが長くなってしまって…」

- 生活リズムが不規則(昼夜逆転)
- コミュニケーションが苦手で……不安
 - ・大勢の中で活動できない
 - ・1対1なら話しができるが集団のなかでは話せない
- 守ろうとしても時間が守れない

課題は人により違う



相談支援

キャリアコンサルタント等による個別的な相談、支援計画の作成

- ・課題、問題点の洗い出し
- ・各種プログラム後のふりかえり
- ・個別支援計画の作成、目標設定

保護者からの相談も受付

小さな成功体験の積み重ねを繰り返す

個別、グループ等による就労に向け踏み出すためのプログラム等の実施

各種支援プログラム

コミュニケーション講座、職場見学、パソコン講座、就活セミナーなど

集中訓練プログラム

合宿を含むサポート、自信回復、職場に必要な基礎的能力付与、就職活動に向けての基礎知識獲得等を集中的に実施



コミュニケーション訓練



職場体験

職場体験プログラム

産業界の求人ニーズの高い業種等でのOJTとoff-JTを組み合わせた就労体験プログラム

- 地域の若者支援機関等と連携
- 学校、ハローワーク等関係機関と連携した、中退者等への切れ目ない支援の実施

ハローワークなどを経て社会へ踏み出す(就職)

就職した者への定着支援・ステップアップ相談

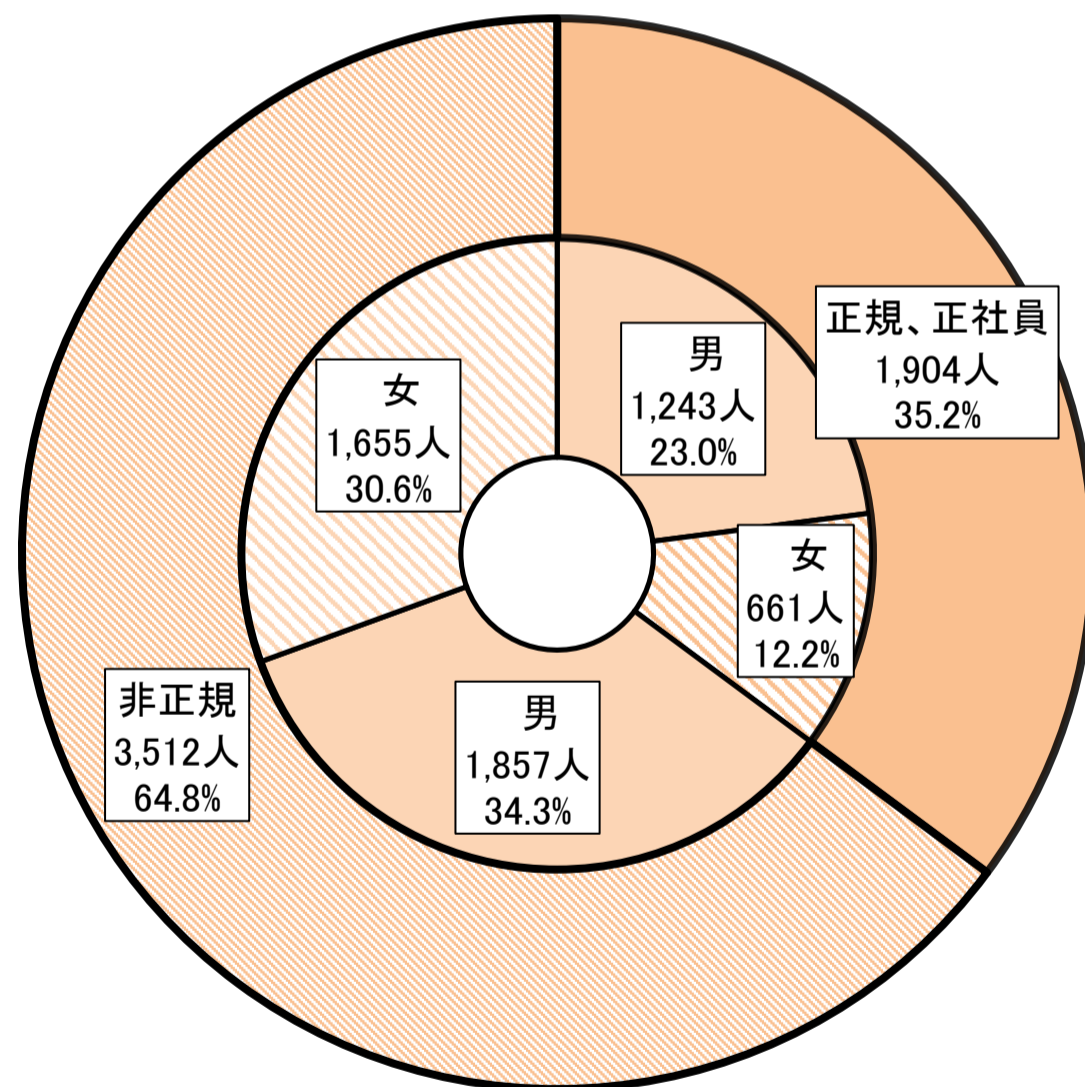
令和2年度地域若者サポートステーション事業の実績

資料3

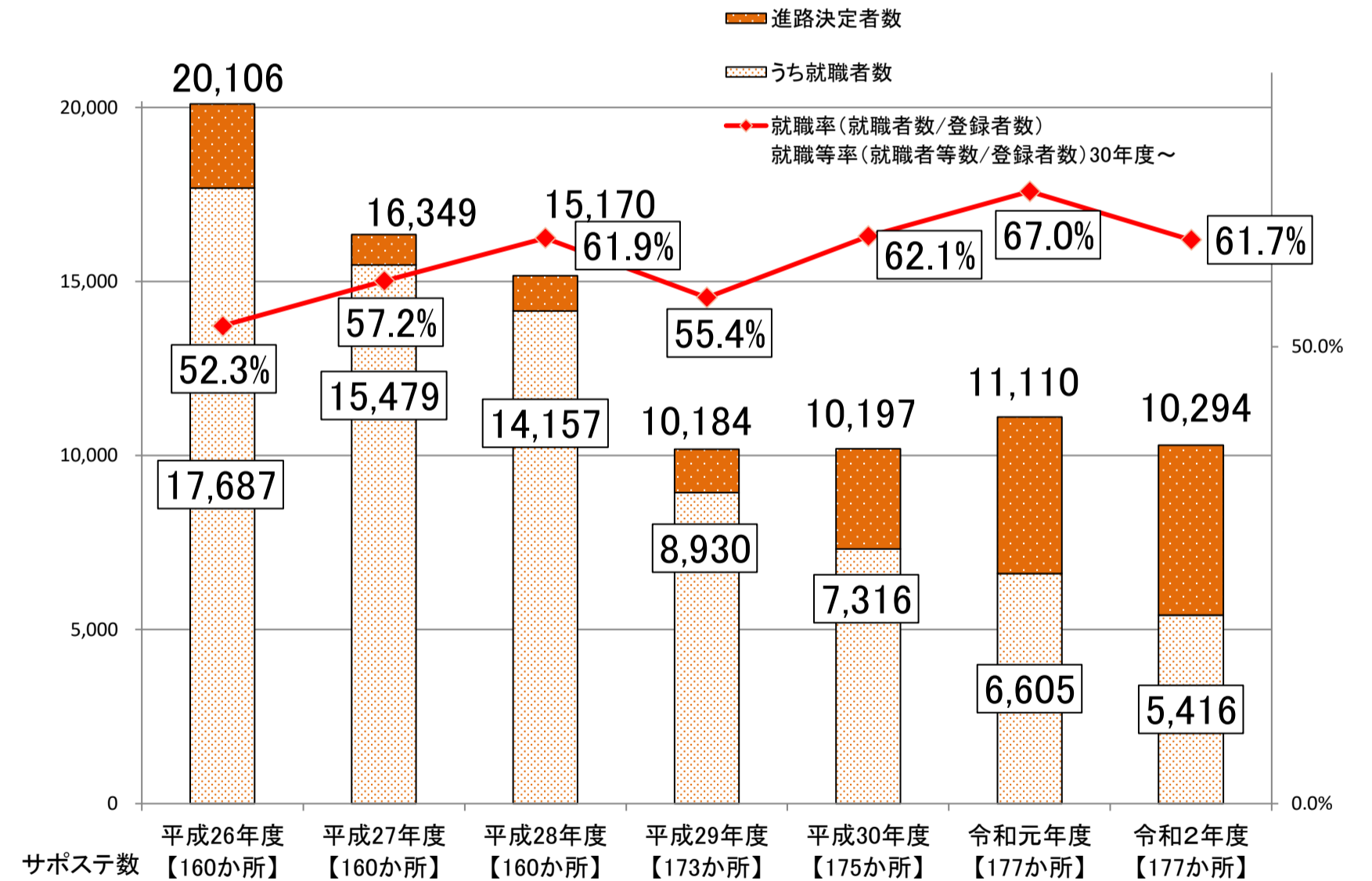
1. 利用者数等実績

	就職等者数		登録者数(人)	総利用件数(件)	相談件数(件)	セミナー等参加者数(人)
		うち就職者数(人)				
計	9,758	5,416	15,822	435,468	242,568	126,641
男		3,100	8,975			
女		2,316	6,847			

2. 就職者の内訳



3. 実績の推移



※ 平成27年度より、「就職者」について雇用保険被保険者になり得る就職者に限定
 ※ 平成29年度より、雇用保険被保険者就職であることを書類により確認できる場合に限定
 ※ 平成30年度より、「就職等」とし、雇用保険被保険者となることが見込まれる就職及び公的職業訓練スキームへの移行も含めて評価

令和2年度地域若者サポートステーション事業実績

(4/19時点暫定版)

()内は令和元年度実績

①新規登録者数(※1)	15,818	(15,815)
②就職等者数	9,751	(10,604)
就職者数	5,416	(6,606)
ステップアップ支援中の就職者数	1,065	(1,063)
週20時間未満の就労者数	2,601	(2,314)
公的職業訓練	669	(621)
③就職等率(②/①)	61.6%	(67.1%)
④定着率(※2)	71.9%	(69.4%)

(※1)新規登録者中、リファー等により本事業での支援の対象とならなかった方を除いた数値

【参考】「就職者数(就職決定届出書なし)」:16人

サボステ利用者のうち、就職をしているが就職決定届出書類の提出のない就職者数

一就職決定届出書類の提出のない就職については、本人同意のもと、ハローワークへ就労確認を行うこと。

就労確認がとれれば、就職実績に含めることができる。

就職決定届出書の提出がない場合の取扱については、平成31年3月29日付事務連絡参照。

(※2)定着・ステップアップ支援を受けた者のうち、就職後6ヶ月経過時点で就労している者の割合

令和2年度

上越 地域若者サポートステーション

事業実施状況報告書

2020年4月～2021年3月

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規登録者 目標値	8	8	9	8	8	9	8	8	9	8	8	9	100
新規登録者数	3	6	7	14	13	9	8	10	14	6	15	4	109
達成率	37.5%	75.0%	77.8%	175.0%	162.5%	100.0%	100.0%	125.0%	155.6%	75.0%	187.5%	44.4%	109.0%
相談件数(全合計)	105	108	109	123	112	128	127	102	88	55	119	127	1303
うち来所	21	19	49	53	36	54	37	38	34	13	38	40	432
うち電話・メール	69	63	46	51	51	60	62	44	47	40	62	68	663
(*未登録者相談件数)	15	26	14	19	25	14	28	20	7	2	19	19	208
セミナー参加人数 計	13	1	67	37	33	40	43	48	58	6	35	40	421
	12	1	51	32	30	33	31	28	33	3	23	34	311
(*未登録者セミナー参加人数)	1		16	5	3	7	12	20	25	3	12	6	110
セミナー実施回数	5	1	23	17	25	23	17	22	34	6	17	19	209
step up・定着相談件数	35	10	6	17	3	47	52	10	25	16	17	25	263
Step upセミナー	実施回数			1	1	1	1	1	1			1	9
	参加人数			3	1	1	2	2	2			2	16

進路決定者 目標値	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
進路決定者数 (A+B)	3	8	3	4	3	13	6	6	4	4	3	5	62
達成率	60.0%	160.0%	60.0%	80.0%	60.0%	260.0%	120.0%	120.0%	80.0%	80.0%	60.0%	100.0%	103.3%

出口就職 目標値														
出口就職 (A)		1	7	2	2	3	8	2	3	3	4	3	5	43
(20H以上。 H27年度から)	正社員	1	4				1		1	1	1	2	1	12
	それ以外		3	2	2	3	6	1	2	2	3	1	4	29
再就職							1	1						2
20H未満決定者 (B)		2	1	1	2		5	4	3	1				19
職業訓練		1	1	1			3	4	2					12
20H未満就労		1			2		2		1	1				7
進学														
起業,自営,内職,結婚等														
リファーマ数						1	2	2					1	6

資料4-1

令和2年度 上越地域若者サポートステーション 利用状況

1. 利用状況

(単位:件)

区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規登録者数		3	6	7	14	13	9	8	10	14	6	15	4	109
登録外新規相談者数		2	4	2	1	6	2	6	3	1	0	1	6	34
来所者数(延べ)		40	32	137	107	86	108	100	103	107	22	81	105	1028
来所者内訳														
	本人	34	24	126	94	78	104	96	100	103	22	77	93	951
	保護者	4	6	7	8	4	2	4	3	3	0	4	9	54
	その他	2	2	4	5	4	2	0	0	1	0	0	3	23
相談件数(総数)		140	118	115	140	115	175	179	112	113	71	136	152	1566
相談件数内訳(来所)														
	本人	21	23	53	54	40	61	55	50	44	16	41	52	510
	保護者	2	4	4	6	2	1	3	1	1	0	1	6	31
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相談件数内訳(電話・mail)														
	本人	109	78	48	78	65	113	112	58	64	51	83	83	942
	保護者	6	12	9	2	7	0	8	3	4	3	10	8	72
	その他	2	1	1	0	1	0	1	0	0	1	1	3	11
就職者数(週20時間以上の就労)		1	7	2	2	3	8	2	3	3	4	3	5	43
進路決定内訳														
	正社員	1	4	0	0	0	1	0	1	1	1	2	1	12
	それ以外	0	3	2	2	3	7	2	2	2	3	1	4	31

2. 新規登録者の区分状況

区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
年齢別	19歳以下	0	1	0	0	2	1	1	1	0	0	2	0	8
	20～24歳	1	2	2	4	0	1	2	5	4	0	3	2	26
	25～29歳	1	0	2	1	1	1	2	2	3	3	1	0	17
	30～34歳	0	2	1	4	3	1	1	1	1	2	1	0	17
	35～39歳	0	1	1	1	2	4	2	0	1	1	5	2	20
	40～49歳	1	0	1	4	5	1	0	1	5	0	3	0	21
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
男女別	男性	1	4	4	9	5	3	7	8	7	5	9	3	65
	女性	2	2	3	5	8	6	1	2	7	1	6	1	44

3. 新規登録者の居住地

地域	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
上越市		3	4	4	7	11	7	3	7	12	5	11	1	75
糸魚川市		0	1	0	7	0	2	1	2	1	0	2	3	19
妙高市		0	1	3	0	2	0	3	1	1	1	2	0	14
その他		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1

4. 就職者の居住地

地域	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
上越市		1	5	2	1	2	5	1	1	3	3	3	3	30
糸魚川市		0	1	0	1	1	3	1	2	0	1	0	2	12
妙高市		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

5. 登録外相談者の居住地

地域	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
上越市		0	3	1	0	5	2	1	3	1	0	1	5	22
糸魚川市		2	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	1	7
妙高市		0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
その他(不明含む)		0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3

項 目	内 容
1 事業目的	<p>若者及び40歳代無業者が充実して職業生活を送り、将来を支える人材となるよう一人でも多くの対象者を就職に結びつけるとともに、就労後のフォローアップを通じて早期離職を防ぐことを目的とする。</p>
2 相談支援事業	<p>(1) 基盤的支援メニュー 就労相談や生活相談、コミュニケーション訓練、軽作業、グループワーク、協力企業への職場見学、保護者からの個別相談への対応を通じて、就職活動の実施に向けた準備段階の支援を行う。 ① 就労相談・生活相談等の個別相談 ・ インテーク面談から支援プラン作成、提案 ・ 出張相談会 ② 動機付けに関するメニュー ・ 職業講話 ・ 就職者による体験談講話 ③ 自己を知ることに関するメニュー ・ 職業適性検査 ・ 自己理解の促進 ・ 自信回復 ・ コミュニケーション能力の向上 ・ 生活習慣の改善 ・ 身だしなみ ④ 職業の世界を知ることに関するメニュー ・ ショブトレーニング・職場見学 ・ 就労体験 ⑤ 関係機関企業と連携したメニュー ・ 講演会 ・ 各種サポートセミナー</p> <p>(2) 実践的支援メニュー 基盤的支援メニューの成果を踏まえ、相談支援員・キャリアコンサルタントによる、実践的な就職に向けた支援プログラムを実施するとともに、就職後の定着・ステップアップのためのフォローアップ支援を実施する。 キャリアコンサルティングプログラム ① 就職活動方法等に関する専門的な相談・個別指導 ・ 個々の状況に合わせたマッチングから書類、面接等へ ・ ハローワークへの同行訪問 ② 就職支援セミナー ・ 就活セミナー ・ ビジネスマナー ・ パソコンセミナー ・ 医療機関主催就職準備プログラム ・ 各就職講話 ・ 各種就職体験セミナー ③ 職場体験プログラム 実践的なスキルの習得、職場環境への適合を支援 ④ 定着・ステップアッププログラム 就職者に対して、キャリアコンサルティングを実施して、その職場での定着を支援、またキャリアアップを図る事ができる者に対しては本格的な知識、スキルを取得するための中長期的なキャリア形成を支援する。</p> <p>(3) 40歳代無業者支援 就職氷河期に学校を卒業・退学した無業者の滞留が顕著で、これらの者を含む49歳までの無業者数の推計は約120万人にも達しており、以下にて支援を行う。 ・ 福祉機関等との連携（アウトリーチ先機関） 地域包括支援センター 市社会福祉協議会 市福祉課 他 ・ 具体的対応 個別支援計画に基づき、自立支援プログラム等参加を促し就業支援を行う。</p> <p>(4) 高校中退者等アウトリーチプログラム 各高等学校・ハローワーク（卒卒・専門援助部門）の3者で連携し切れ目のない支援を行う。 ※進路未決定卒業予定者（卒業年度1月以降）、中途退学者、 定時制で学びながら働く生徒対象 ・ 相談支援、アウトリーチ型支援 ・ 職業意識形成、自己理解、生活習慣、コミュニケーション能力向上支援など ・ 他機関への誘導 他</p>

3 事業実施期間	令和3年4月1日から令和5年3月31日(24ヶ月)			
4 実施体制	総員6名 常勤 5名 内訳 総括コーディネーター キャリアコンサルタント 相談支援員 2名 情報管理員 非常勤 1名 相談支援員 1名			
5 開所時間	(月・火・金) 午前9時00分～午後5時00分 (水・木) 午前9時00分～午後6時00分 (第1土曜) 午前10時00分～午後3時00分 休日：第2・3・4土曜・日曜・祝日、年末年始			
6 目標値	就職等率	60%	新規登録者件数	100件
	就職等率(うち40歳代無業者)	35%	アウトリーチ支援件数	10件
	定着率	69%	就職等件数	60件
	利用者満足度	90%	就職等件数(うち就職以外)	10件
7 概算事業費 及び人件費	相談支援 事業	基盤的支援メニュー	(体制費 10,538,131円) (活動事務費 548,951円) (一般管理費 147,145円) (消費税 1,123,422円)	
		実践的支援メニュー	(体制費 6,212,238円) (活動事務費 1,398,840円) (一般管理費 147,145円) (消費税 775,822円)	
	合計		20,891,694 円	

令和3年度地域若者サポートステーション事業目標値

①若年無業者等の就職等率	60%以上
②40歳代無業者の就職等率	35%以上
③定着率(※1)	69%以上
④満足度(※2)	90%以上
⑤新規登録件数	21,700件以上
⑥就職等件数	13,000件以上

(※1)定着率

定着・ステップアップ支援を受けた者のうち、就職後6ヶ月経過時点で就労している者の割合

(※2)満足度

サポステの支援を受けた者に対して厚生労働省等が行う満足度調査において、満足と回答した者の割合

- 地域の産業界の協力の下、就労の後押し及び若者が産業の将来の担い手となる第一歩を踏み出すための職場体験プログラムを実施
- 具体的には、人材不足の業種・職種、また、実際にハローワークに求人が出ている事業所及び同業種の事業所を中心に、サポステ利用者の個々のニーズに応じて、OJTとoff-JTを組み合わせた職場体験プログラム実施企業を開拓
- 体験期間終了後は、体験先企業や関連企業での雇用形態での就業への移行・定着を促進するための相談支援及び体験先企業への働きかけ等を実施

対象者：サポステの支援を受けている者

相談支援を受け、短期の職場見学等を経て、一定程度自信を回復し、同一事業所での本格的な職場体験を行えるレベルに至った者。

⇒ 1週間から3か月程度の職場体験プログラムを行うことで、実践的なスキル習得、職場環境への適合、ひいては就職体験先企業又は関連企業への就職及び職場定着が期待できる。

継続して働けるかチャレンジ

求人ニーズの高い仕事にチャレンジ（マッチング）

受入先の事業主の負担軽減

– 職場体験プログラム –

- 人材不足分野等における職場体験プログラム（OJTとoff-JT（※）の組み合わせ）
※ 安全確認、顧客対応上最低限遵守すべき事項等のオリエンテーション
- 1週間～3か月程度
 - ・連続した職場体験を実施（これまでの職場見学等は1～数日程度）
 - ・職場体験期間中は就労ではないので無償
- 体験開始前、体験中、体験後の振り返りなどサポステ利用者と事業主をフォロー
- 体験を受入れた事業主のプログラム実施経費に相当するものとして、体験受入謝金（最大4万円/月）を支給



事業所に毎日かよえるかな？

介護って？
建設業でもパソコンって使うの？
販売でも事務仕事がある？

1～数日ならがんばれるが、同じ事業所で同じ人とうまくやっていける？

・体験期間終了後、体験先企業や関連企業等での雇用契約による就業に移行できるよう支援・企業への働きかけを実施。

・就職後も、定着・ステップアッププログラムによる継続した支援を実施。

サポステ

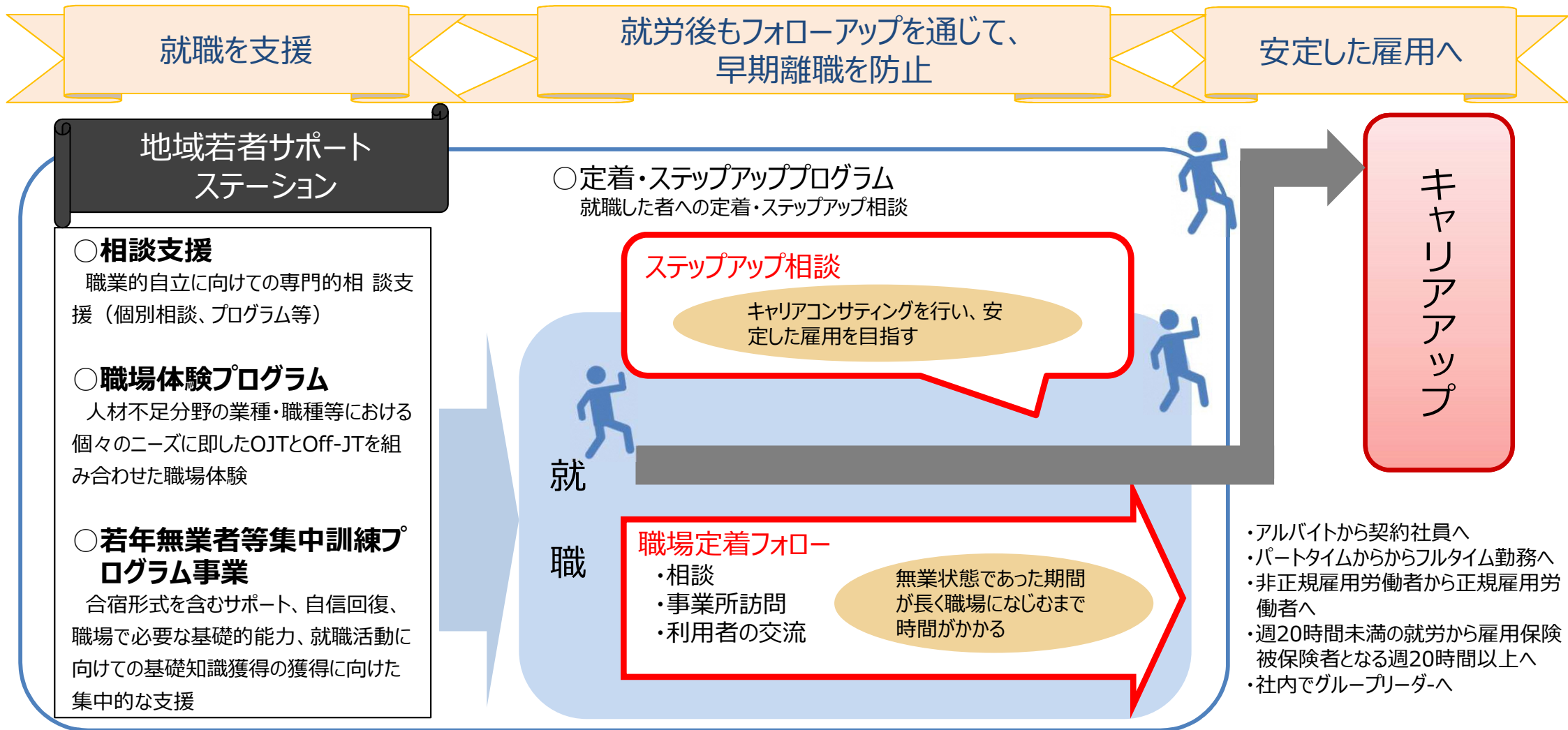
ハローワーク

・連携

就職

・職業相談・
職業紹介

- 無業の若者の就労を支援する「地域若者サポートステーション」(通称：サポステ) の支援を受けて就職した者に、就労後の職場定着のためのフォロー等を実施するほか、より安定した就職機会にキャリアアップできるよう、ステップアップに向けた支援を実施。



- 就職氷河期世代 (※) の方々への支援として、**政府でとりまとめた3年間の集中プログラムに沿って、厚生労働省においては、「厚生労働省就職氷河期世代活躍支援プラン」に基づき、各種施策を積極的に展開していく。**

(取組の基本的な方針)

- 地域ごとのプラットフォームにおいて支援対象者の状況を把握し、地域一体となった取組を推進
- 民間の活力を最大限に活用し、取組の成果を最大化
- 支援が必要なすべての方に対し、個別の状況に応じたきめ細やかな支援が届く体制を構築

就職・正社員化の実現
多様な社会参加の実現

※ 概ね1993(平成5)年～2004(平成16)年に学校卒業期を迎えた世代を指す。2019年4月現在、大卒で概ね37～48歳、高卒で概ね33歳～44歳に至る。

I 主な支援対象

- ◆ 不安定な就労状態にある方 (不本意ながら非正規雇用で働く方) (約50万人程度 (35～44歳))
- ◆ 長期にわたり無業の状態にある方 (就業希望はあるが、「希望する仕事がありそうにない」などの理由で、就職活動に至っていない方等)
- ◆ 社会とのつながりをつくり、社会参加に向けたより丁寧な支援を必要とする方 (ひきこもりの方など)

II 主な取組の方向性

➢ 地域ごとのプラットフォームの形成・活用

- 都道府県レベルのプラットフォーム (経済団体、労働局等) により各界一体となった取組を推進
- 市町村レベルのプラットフォーム (自立相談支援機関、地域若者サポートステーション、ハローワーク、経済団体、ひきこもり地域支援センター、ひきこもり家族会等) により、地域資源、ニーズの把握、適切な支援へつなぐ等の取組を推進

➢ 就職氷河期世代、一人ひとりにつながる積極的な広報

➢ 対象者の個別の状況に応じたきめ細やかな各種事業の展開 (関連施策：短時間労働者等への社会保険の適用拡大)

◆ 不安定な就労状態にある方

- 民間事業者のノウハウを活かした正社員就職につなげる成果連動型事業
- ハローワークに専門窓口を設置、担当者によるチーム支援を実施
- 短期間で取得でき、安定就労に有効な資格等の習得を支援
- 働きながらでも無料で受講可能な訓練の提供
- 助成金等による企業の取組支援

◆ 長期にわたり無業の状態にある方

- 地域若者サポートステーションにおいて以下の取組を実施
 - ① 生活困窮者自立支援とのワンストップ支援
 - ② 地域レベルでの潜在的支援者把握のためのアウトリーチ展開
 - ③ 全国レベルでの一元的案内・相談機能の整備

◆ 社会参加に向けた支援を必要とする方

- 身近な地域レベルでの周知・広報のための環境整備
- 生活困窮者自立相談支援事業及び就労準備支援事業の強化
- 中高年者へのひきこもり支援充実
- 8050等の複合課題に対応できる包括的支援や居場所を含む多様な地域活動の推進

学校、地域若者サポートステーション、ハローワーク 進路未決定卒業予定者等 支援フロー

令和3年4月1日
新潟労働局職業安定課

【サポステの支援対象者（目安）】

- 生活習慣、コミュニケーション能力など、就職活動や就職をする上で課題を抱えている。
 - 働こうとする意思はあるが、働くことのイメージができない、まだ明確な方向性を持っていない。
 - 働くことについて方向性が見えていて、情報収集もできるが、就職に向けた行動に移せていない。
- ※ 一律に当てはめるのではなく、個々の生徒等の様子を踏まえて判断する。



サポステ
(地域若者サポートステーション)

【学校、サポステ、ハローワークの3者で連携し、切れ目のない支援を行う】

- ・相談支援、アウトリーチ型支援
- ・職業意識の形成、自己理解、生活習慣、コミュニケーション能力の向上支援など
- ・他機関への誘導



生徒等・保護者

進路未決定卒業（予定）者（※）

中途退学（決定）者

定時制等で学びながら働く生徒

※進路未決定卒業予定者は、原則、卒業年度の1月以降から支援対象。

- ・支援内容の情報提供
- ・連携のための窓口担当者の設置依頼
- ・就職に関する講話
- ・サポステでの支援後、学校での支援に誘導（在学生等）

- ・支援が必要な生徒の伝達、誘導

- ・進路指導、企業への推薦
- ・ハローワークの案内
- ・サポステの案内

- ・未内定者等の把握
- ・サポステの周知

- ・未内定者等の情報提供

- ・サポステでの支援後、ハローワークへの誘導

- ・支援が必要な生徒の情報をサポステへ伝達、誘導

- ・職業相談、職業紹介
- ・サポステの案内
- ・その他機関の案内



ハローワーク

学卒部門

専門援助部門

学校



障害者手帳取得が有効と思慮する場合、部門間で連携。



令和3年度 上越地域若者サポートステーション 年間行事予定表

令和3年4月20日現在

月	主なサポステ内行事・不定期開催プログラム	出張相談会			出張・会議・入札関係 (※5月以降は令和2年度実績)	
		ハローワーク				外部会場
		上	糸	妙		
4	9・挨拶回り 16,21・地域包括支援センター訪問	22	14	28	14・糸魚川地区公民館	15・県内サポステ情報交換会(三条)
	9・女子会				26・自立支援ネットワーク実務担当者会議	
5	中～下旬・高校訪問	20	12	26	12・能生地区公民館	
					19・大島コミュニティプラザ	
					26・新井ふれあい会館	
6	上～中旬・13区総合事務所訪問	17	9	23	9・糸魚川地区公民館	26・県内サポステ情報交換会(三条)
7	3・親サポ 9・女子会 14・GATB(糸魚川会場)	22	14	28	22・直江津学びの交流館	
					29・新井ふれあい会館	
8	上旬または下旬・高校訪問	26	18	25	18・糸魚川地区公民館	
9	随時・地域包括支援センター訪問	16	15	29	15・能生地区公民館	1・ブロック研修会(Zoom)
					22・柿崎コミュニティプラザ	2・県内サポステ情報交換会(長岡)
					29・新井ふれあい会館	29・相談業務スキル向上研修(Zoom)
10	8・女子会 中～下旬・高校訪問	21	13	27	13・糸魚川地区公民館	13・ネットワーク会議
11	10・GATB(糸魚川会場)	18	10	24	17・清里コミュニティプラザ	24・県内サポステ情報交換会(上越)
	上旬・民生委員児童委員ブロック研修会(各所でサポステ周知)				24・新井ふれあい会館	
12		23	15	22	15・糸魚川地区公民館	
1	中旬・高校訪問	20	12	19	12・能生地区公民館	サポステ事業入札説明会(2年度は開催せず)
					19・新井ふれあい会館	21・県内サポステ情報交換会(Zoom)
					26・直江津学びの交流館	
2	4・女子会	24	9	16	9・糸魚川地区公民館	4・R3,4年度提案書3市会議 未定・提案書プレゼン
					10・提案書第一次案締切 16・提案書第二次案締切	
3	16・GATB(糸魚川会場)	24	16	23	9・三和コミュニティプラザ	5・開札
					23・新井ふれあい会館	

●月以外の欄内数字は日付を表す。

●出張・会議を始め、予定は随時更新。

●毎週及び隔週開催等定期プログラムは別紙(プログラム案内)参照…令和3年度より、第2,4月曜午後に「健康セミナー」、偶数月第3金曜午前に「調理実習」を定期開催(別紙に記載なし)

●講演会・研修については、新型コロナウイルス感染状況により開催検討

上越地域若者サポートステーション 8月予定表

2021.7.15現在

8月		午前	午後
1	日		
2	月		
3	火	GATB無料体験(10:00~11:30 相談室11)	
4	水		
5	木	コミプレ(10:00~11:30 第1会議室)	ビジネスマナー(13:30~15:00 相談室11)
6	金		
7	土	【土曜開所日】10:00~15:00	
8	祝	山の日	
9	振	振替休日	
10	火		社会参加活動:ワークライフポニーズ(13:00 サポステ集合)
11	水		
12	木	コミプレ(10:00~11:30 第7会議室)	コミトレ(13:30~15:00 相談室11)
13	金		
14	土		
15	日		
16	月	就活セミナー①(10:00~12:00 相談室11)	
17	火		社会参加活動:直江津図書館(13:30 サポステ集合)
18	水	パソコンセミナー①(10:00~12:00 だいふくパソコン教室)	
19	木	コミプレ(10:00~11:30 第7会議室)	ビジネスマナー&ステップアップセミナー (13:30~15:00 相談室11)
20	金		
21	土		
22	日		
23	月	就活セミナー②(10:00~12:00 相談室11)	健康セミナー(13:30~15:00 相談室11)
24	火	GATB無料体験(10:00~11:30 相談室11)	社会参加活動:大潟水と森公園(12:45 サポステ集合) 作業しやすい服装で。雨天時は雨具持参
25	水	パソコンセミナー②(10:00~12:00 だいふくパソコン教室)	
26	木	コミプレ(10:00~11:30 第7会議室)	コミトレ(13:30~15:00 相談室11)
27	金	調理実習(9:30~12:30 調理実習室)	
28	土		
29	日		
30	月	就活セミナー②(10:00~12:00 相談室11)	
31	火		社会参加活動:社協デイサービス(13:30 サポステ集合)

- ◆各プログラムは、特に記載がない場合「福祉交流プラザ」で実施します。実施場所詳細は掲示、または口頭でお知らせします。
- ◆プログラムはすべて事前予約となります。参加希望のプログラムがありましたら、1週間前までに事務局へお申し出ください。
- ◆社会参加活動は、実施場所により集合時間が異なります。また、実施時間は概ね2時間です。
- ◆月間予定は福祉交流プラザや社会参加活動先の都合等により変更となる場合があります。ご了承ください。

☆プログラムは、マスク着用での参加をお願いいたします。
 ☆熱中症予防のため、各自で飲み物を持参してください。
 ☆悪天候の場合、安全のためプログラムを中止することがあります。その際は、お申し出いただいている連絡先(携帯電話)に連絡いたしますので、上越サポステの電話番号を登録しておいてください。
 ※閉所になりスタッフが電話連絡できない場合は、HPやTwitterで中止案内をします。

地域若者サポートステーション事業
公益財団法人新潟県雇用環境整備財団(受託団体)

サポートステーション事業(福祉交流プラザ内)

○サポステ事業実施内容

無業の若者へのカウンセリング、電話等による相談、ボランティア体験、保護者向けセミナーなどを行い、就労や進学等社会性の回復を目指す。

○支援体制

- 所在地：上越市福祉交流プラザ内（上越市寺町2-20-1）
- 総括コーディネーター1名
事業の企画立案、関係機関との調整、総合窓口、カウンセリング
- キャリアコンサルタント1名
カウンセリング、出張相談
- 相談支援員3名
- 情報管理員1名

・キャリアコンサルタント
・教員免許状等資格保有者

- 相談
- ジョブトレーニング・就活セミナー
職場見学・体験、社会参加活動、ビジネスマナー、パソコンセミナー
- 一般職業適性検査
- グループ活動
コミュニケーショントレーニング、調理実習、健康セミナー、女子会
- 親サポートセミナー
- 職場定着・ステップアップ支援
ステップアップセミナー、卒業者懇談会
- 講演会・研修会

助言・提言

報告

関係機関・団体との連携
上越地域若年者自立支援ネットワーク会議

○商工団体

- ・上越商工会議所
- ・上越商工会連絡協議会

○就労支援行政機関

- ・ハローワーク上越
- ・ハローワーク糸魚川
- ・ハローワーク妙高

○各種支援団体等

- ・障害者就業生活支援センターさくら
- ・NPO法人えちご若者元気塾

○教育機関

- ・上越教育大学
- ・新潟県高等学校長協会
- ・新潟県立上越テクノスクール

○保健福祉行政機関

- ・新潟県上越地域振興局健康福祉環境部
(上越保健所・上越児童相談所)
- ・上越市福祉部すこやかにくらし包括支援センター

○自治体行政機関

- ・新潟県産業労働部しごと定住促進課
- ・新潟県上越地域振興局企画振興部労政担当
- ・上越市産業観光交流部産業政策課
- ・糸魚川市産業部商工観光課
- ・妙高市観光商工課
- ・上越市青少年健全育成センター

○医療機関

- ・高田西城病院

○各種機関・支援団体

- ・域内企業での就労・ボランティア体験
- ・各民間支援機関との連携、リファーマ（職業訓練へのリファーマ等）
- ・保健福祉行政機関との相互リファーマ
- ・大学との連携（専門的知見の活用）
- ・高等学校との連携、リファーマ（アウトリーチ支援事業）
- ・ハローワークからのリファーマ及び求職活動
- ・テクノスクールでの職業訓練・職場体験
- ・その他就労支援機関との連携
- ・上越地域若年者自立支援ネットワーク会議の開催による連携強化

○上越市

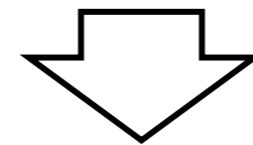
- ・事務所施設の無償貸与
- ・事務所施設の光熱水費の負担
- ・出張相談会等、市の施設利用における使用料免除
- ・市のホームページや広報誌による周知
- ・職場体験、ボランティア活動の場の提供等

○糸魚川市

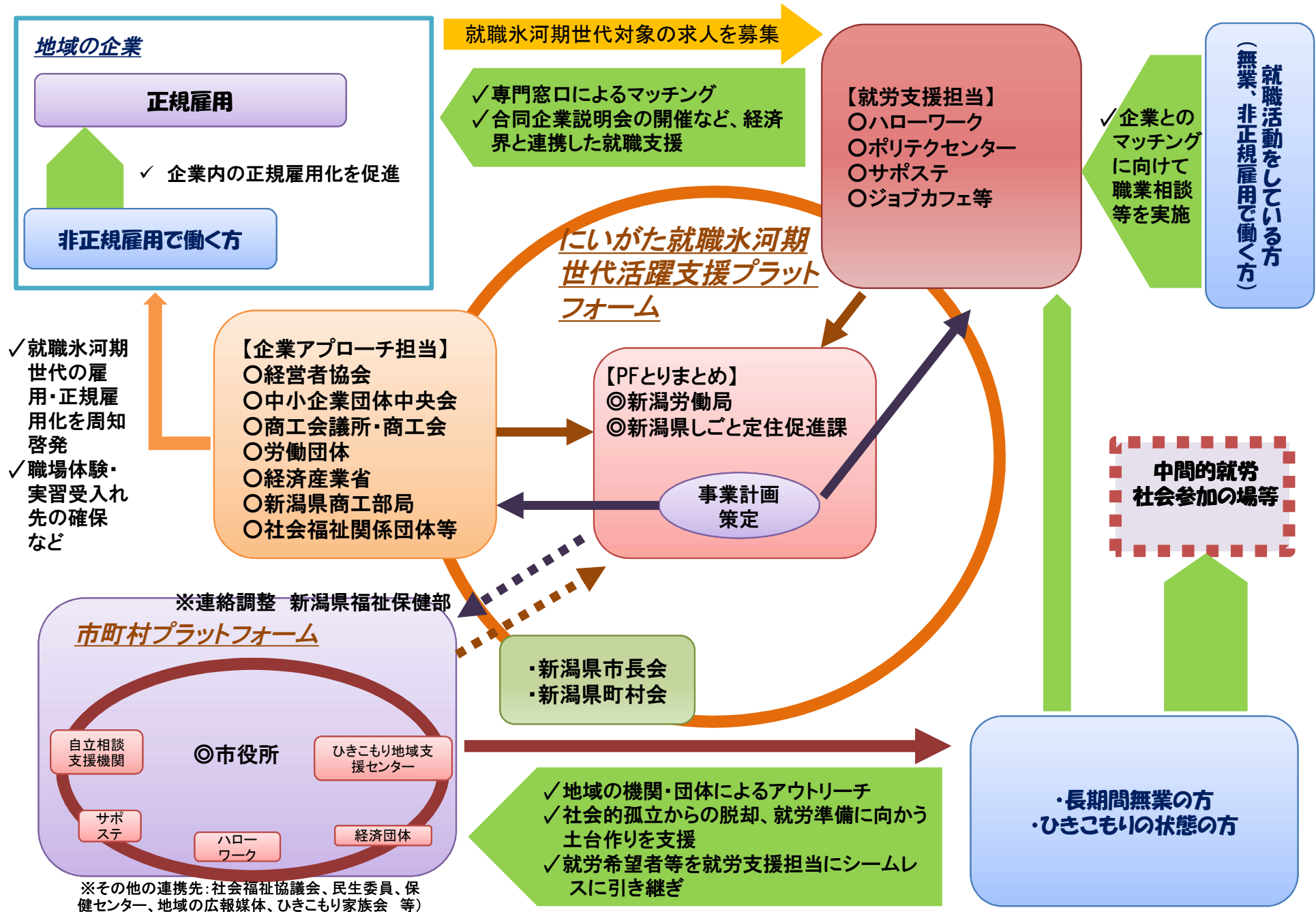
- ・出張相談会等、市の施設利用における使用料免除
- ・市のホームページや広報誌による周知

○妙高市

- ・出張相談会等、市の施設利用における使用料免除
- ・市のホームページや広報誌による周知



社会人としての自立（就職・復職・進学）



※その他の連携先: 社会福祉協議会、民生委員、保健センター、地域の広報媒体、ひきこもり家族会 等)